

## 「寒河地区社会福祉協議会

### (地区社協)とは??」

多くの人々は高齢者になっても、心身に障がいがあっても、親しみのある住みなれた場所で、安心と幸せを感じ暮らし続けることを願っています。

その為には、地域の皆さんや、町内会長・民生児童委員・福祉委員がスタッフとなり、備前市社会福祉協議会（備前市社協）や専門機関と連携・協働しながら地域の福祉課題の解決に向けて協議し、寒河地区の誰もが安心して住み続けることができる地域づくりを目的として活動する地元住民主体の活動組織団体です。

7/7 (火)

日生認定こども園にて、七夕会が行われました。

今年度は、コロナ禍のため笹のみを地区社協スタッフが園へ持参しました。



9月初旬

第1回友愛訪問を行いました。  
75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、熱中症予防のため飲料水を配布しました。



寒河地区社会福祉協議会

副会長

山崎

智里

寒河地区社協だより

第3号

令和3年 3月31日



10/14 (水)

寒河地区認知症講演会と見守り声かけ訓練に参加しました。講演会では、認知症について理解を深め、見守り声かけ訓練では認知症の人が徘徊をしている実際の場面を想定し、声かけを行いました。



## <地域課題解決支援プロジェクト事業報告>

今年度、備前市社協が市より委託を受けた事業に地区社協として協力をしました。市社協と一緒に、地域住民の避難体制をつくることを目的に高齢者の情報を掲載した「見守りマップ」を作成しました。今後は、地区社協が主体となり更新や活用を行っていきたいと思います。



1/15 (金)

日生認定こども園にてどんど焼きを行いました。

地区社協スタッフや地域の方々と共に、やぐらの囲りにお神酒を撒いて清め、お正月飾り、自分で書いた書初めや絵を入れ、点火しました。

無病息災を祈りながらどんど焼きが燃える様子を見守りました。



3/6 (土)

第2回友愛訪問を行いました。

75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、記念品を配布し安否確認を行いました。



### 【令和2年度の活動について】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの活動を実施することができませんでした。コロナ禍の中でも、感染防止対策を徹底しながら取り組みましたが、中止や延期となる事業が多くありました。令和3年度もコロナ禍の中での活動となりますが、コロナ禍の中で、今地区社協で取り組むべきことを考え事業の実施を行いたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。



寒河地区社協 広報編集部一同

発行責任者 事務局長 川本 満美子

